

令和3年度大田区立龍子記念館

名作展Ⅱ「みなさんが選ぶ！龍子記念館コレクション」の開催について

■開催情報

会 期：(前期) 令和3年11月20日(土)～令和4年1月30日(日)

(後期) 令和4年2月5日(土)～4月10日(日)

開館時間：9:00～16:30 (入館は16:00まで)

休 館：月曜日(1月10日(月・祝)、3月21日(月・祝))は開館し、1月11日(火)、3月22日(火)に休館)

年末年始(12月29日～翌1月3日)、後期展示替え(1月31日～2月4日)

入 館 料：大人200円、小人100円 ※65歳以上(要証明)と6歳未満は無料

■展覧会概要

本展では、令和3年4月から7月に実施した来館者による龍子記念館の所蔵作品の人気投票をもとに作品を展示します。新型コロナウイルス感染症の感染が拡大していく中、美術館の運営においては展覧会の延期や中止、入館者減などの多くの困難が伴い、また、感染対策においてはいかに安全性を確保するか試行錯誤が続き、時には臨時休館も余儀なくされることがありました。そのような状況下でも、龍子記念館は地域住民やリピーターの来館者など、多くのサポートがあり展覧会を開催し続けることができました。

そこで本展は、ご来館にいただいたお客様との双方向型企画として、400件近くお寄せいただいた作品の人気投票をもとに展示を構成し、前期・後期の会期で日本画家・川端龍子(かわばたりゆうし・1885-1966)の作品を、来館者からいただいたメッセージとともに紹介していきます。前期は、「もう一度見てみたい!」や「初めて記念館に来た時に印象深かった一作」、「まだ見たことがないから展示してほしい」等のコメントをいただいた《虎の間》(1947年)や《渦潮》(1956年)といった大画面の作品を中心に展示します。また、後期は人気投票のランキングの上位となった《草の実》(1931年)、《爆弾散華》(1945年)、《筏流し》(1959年)といった龍子の代表作を紹介します。

さらに本展では、人気投票の統計から、「明治から大正時代」、「戦前」、「戦後」の龍子の作品、「龍子が描いたカップ」の4つの分類において、どの作品が注目されているのかという切り口からも作品を選出します。なかでも、「龍子が描いたカップ」では、パイナップルを片手に持ったカップを即興的に描いた《似てる》(1958年)が意外な高得票となりました。令和3年度は、東京オリンピックパラリンピック開催記念展や高橋龍太郎コレクションとのコラボレーション企画展などで川端龍子への大きな注目が集まりました。来館者目線でのフラットな視点で展示を構成した本展から、龍子の作品の新たな魅力を発見してください。

■関連イベント

○令和3年度 第4回記念館講座 川端龍子の画業に関する講演

日 時：令和4年3月19日（土）13：30～15：30

定 員：100名 会 場：大田文化の森 ホール

○ギャラリートーク

学芸員が出品作を解説します。（事前申込制・定員25名）

開催日：令和3年12月12日（日）、令和4年1月16日（日）、2月20日（日）、
3月20日（日） 各日11：30、13：00から（40分程度）

○龍子公園（旧宅・アトリエ）のご案内

当館に隣接する龍子設計の旧宅とアトリエが、時間制で自由見学できます。

開館日の10：00、11：00、14：00から（30分程度）

■主な出品作品

○「展示してほしい」というお声をいただいた作品（全会期展示）



川端龍子《虎の間》1947年

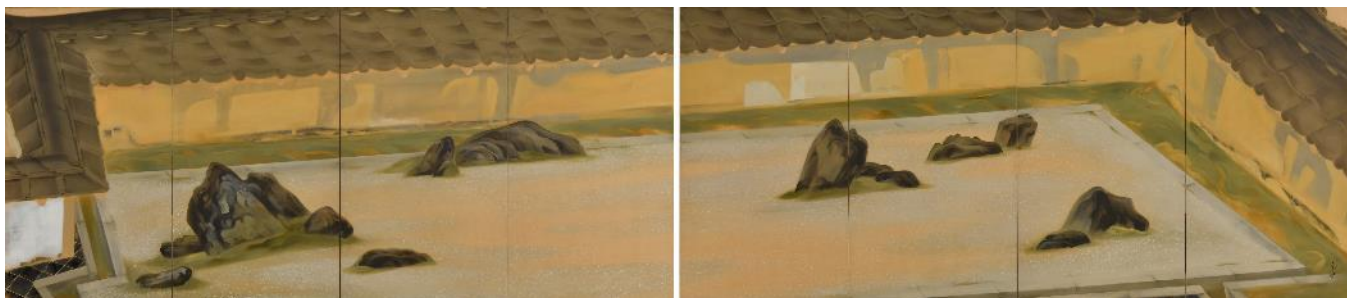


川端龍子《渦潮》1956年



川端龍子
《阿修羅の流れ（奥入瀬）》
1964年

○得票の多かった作品【大正～昭和】（前期展示）



川端龍子《龍安泉石》1924年



川端龍子《一天護持》1927年



川端龍子《龍巻》1933年



川端龍子《源義経 (ジンギスカン)》1938年

○人気投票の得票の多かったの作品（後期展示）



川端龍子《草の実》1931年



川端龍子《爆弾散華》1945年

川端龍子《爆弾散華》1945年



川端龍子《筏流し》1959年

○龍子の描いたカッパの一番人気は？（全会期展示）



川端龍子《沼の饗宴》1950年（全会期展示）



川端龍子《ミス・カップ》1957年



川端龍子《似てる》1958年

■ 広報についてのお問合せ

本展紹介のための作品画像の使用に関しては、下記までお問い合わせください。

※作品画像のほか当館の外観や龍子公園の画像もご用意いたします。

※使用に際しては、掲載内容・放映内容を事前に確認させていただきます。

※使用後、掲載誌および放映が記録されたメディアを見本として当館までご送付ください。

【お問合せ先】

大田区立龍子記念館 〒143-0024 東京都大田区中央 4-2-1
TEL & FAX 03-3772-0680 学芸員 木村拓也

■ アクセス

● JR京浜東北線大森駅西口から

東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車、「臼田坂下」下車、徒歩2分

● 都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から

南馬込桜並木通り（桜のプロムナード）に沿って、徒歩15分

